

## 御嶽山の火山活動解説資料

気象庁地震火山部  
火山監視・警報センター

### <噴火警戒レベル1（活火山であることに留意）から2（火口周辺規制）に引上げ>

御嶽山では、本日（23日）14時15分頃から火山性地震の増加がみられています。また、14時19分頃には火山性微動とともに、山頂付近に設置された二ノ池北傾斜計で南側（地獄谷側）が隆起する変化がみられました。火山活動が高まっている可能性があります。このため、本日（23日）16時35分に火口周辺警報を発表し、噴火警戒レベルを2（火口周辺規制）に引き上げました。今後、火口周辺に影響を及ぼす噴火が発生する可能性があります。

### 防災上の警戒事項等：

剣ヶ峰南西斜面の79-7火口から概ね1kmの範囲では、弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。

噴火時には、風下側では火山灰だけでなく小さな噴石が風に流されて降るため注意してください。



図1 御嶽山 噴火警戒レベル2に対応した警戒が必要な範囲（赤円）

- 火山活動解説資料のページ [https://www.data.jma.go.jp/vois/data/tokyo/STOCK/monthly\\_v-act\\_doc/monthly\\_vact.php](https://www.data.jma.go.jp/vois/data/tokyo/STOCK/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php)
- 資料で用いる用語の解説については、「気象庁が噴火警報等で用いる用語集」を御覧ください。  
<https://www.data.jma.go.jp/vois/data/tokyo/STOCK/kaisetsu/kazanyougo/mokuji.html>
- 中部地方整備局、国土地理院、東京大学、京都大学、名古屋大学、国立研究開発法人防災科学技術研究所、国立研究開発法人産業技術総合研究所、長野県及び岐阜県のデータも利用して作成しています。また、資料の地図の作成に当たっては、国土地理院発行の『数値地図50mメッシュ(標高)』『数値地図50000(地図画像)』を使用しています。

## ○活動概況と評価

本日（23日）、14時15分頃から山頂付近を震源とする火山性地震が増加しています（図2、図3）。また、14時19分頃には火山性微動とともに、山頂付近に設置された二ノ池北傾斜計で南側（地獄谷側）が隆起する変化がみられました（図4）。火山活動が高まっている可能性があります。

[回]時間別地震回数

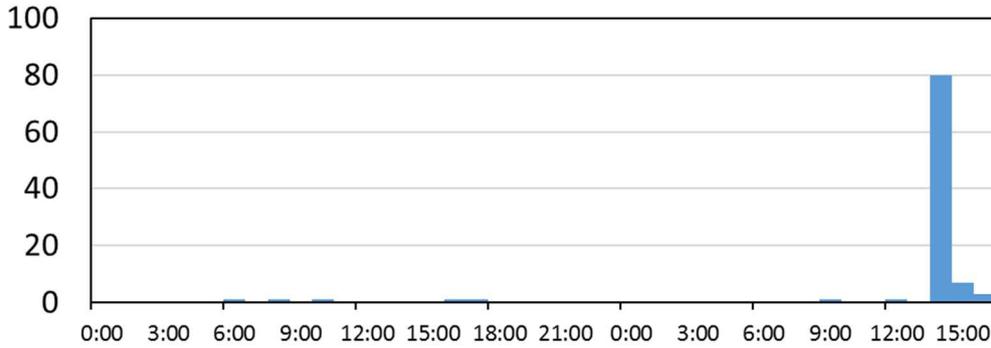


図2 御嶽山 時間別地震回数

(2022年2月22日～2022年2月23日17時)

- ・本日（23日）14時15分頃から火山性地震の増加がみられています。

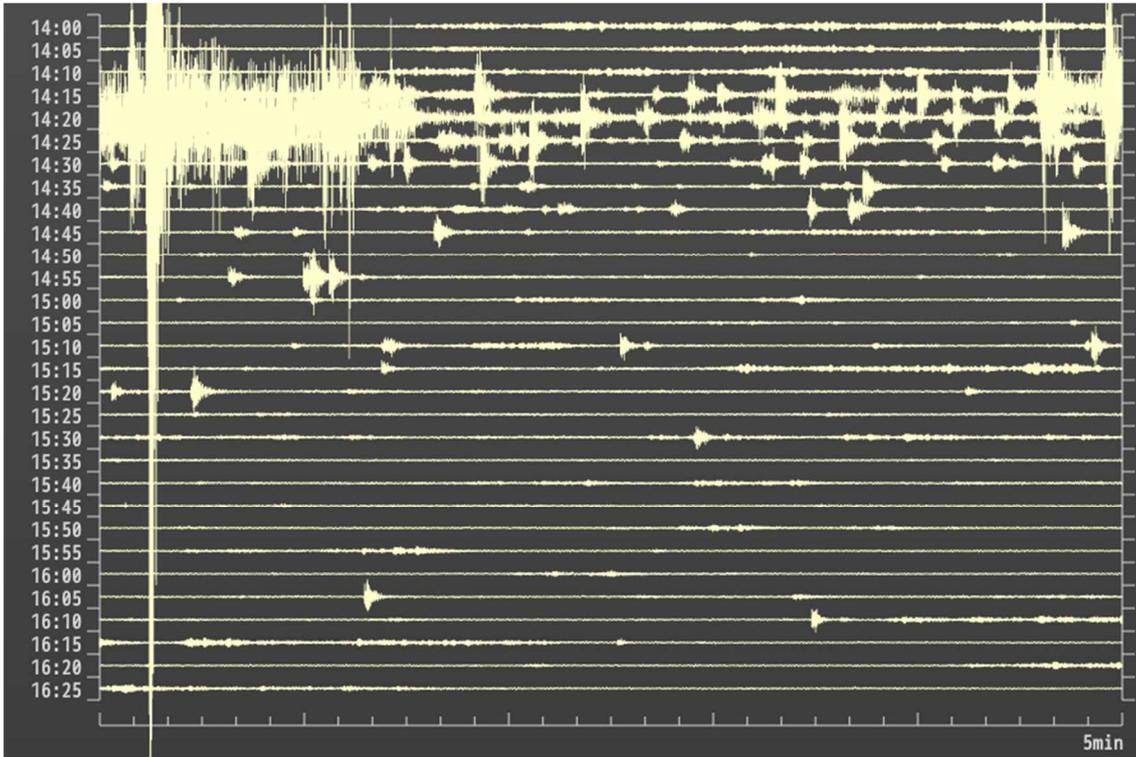


図3 御嶽山 火山性地震の増加の様子（2022年2月23日14時00分～16時30分）

- ・本日（23日）14時15分頃から火山性地震の増加がみられています。

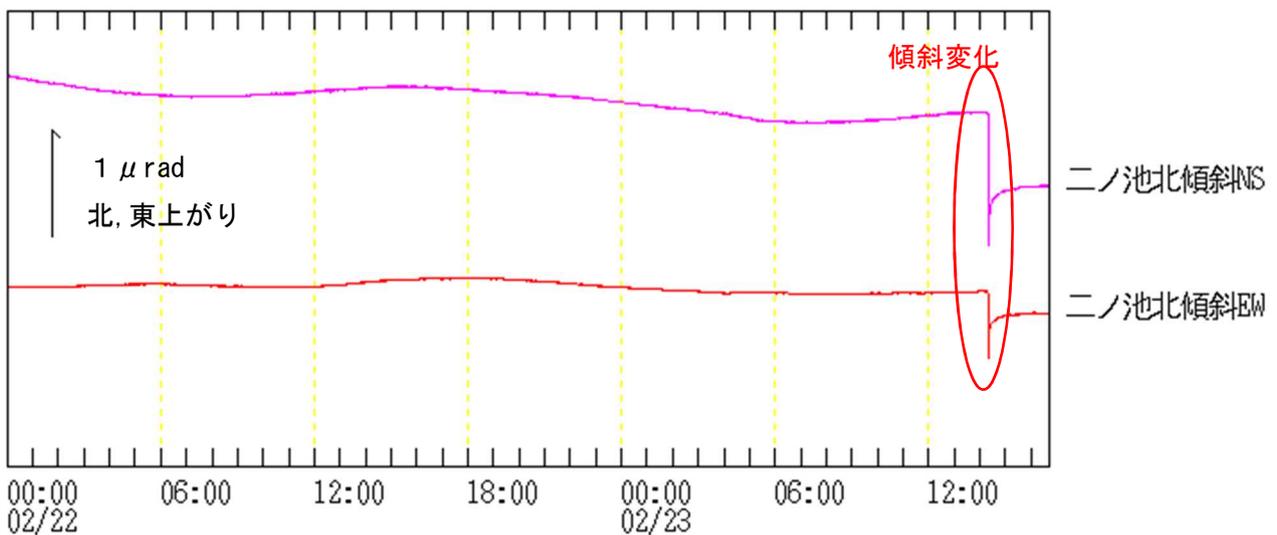


図4 御嶽山の傾斜変動（2022年2月22日00時00分～2022年2月23日16時40分）

- ・14時19分頃には火山性微動とともに、山頂付近に設置された二ノ池北傾斜計で南側（地獄谷側）が隆起する変化がみられました。

